

喉頭癌のABC

高知医療センター耳鼻咽喉科 土井 彰

内容

1. 腫瘍とは
2. 喉頭癌の診断
(ラリンゴマイクロスージェリー)
3. 喉頭癌の治療
(手術、放射線治療、化学療法)
4. 喉頭癌の予後
(治療の結果、生きられるのか)
5. 喉頭癌の疫学
(喉頭癌になりやすい人)

第10回高知医療センター地域がん診療連携拠点病院 公開講座
平成21年8月8日より抜粋

1. 腫瘍とは

- * 腫瘍はブレーキが壊れた自動車と同じ、延々と細胞が増殖する。
- * 腫瘍には良性腫瘍と悪性腫瘍の2種類がある。

2. 喉頭癌の診断 (ラリンゴマイクロサージェリー)

- * 喉頭癌の診断は実際に癌細胞を取って調べます(組織検査)。
- * ラリンゴマイクロサージェリーという方法で細胞を取って調べます。
- * サージェリー(手術)という名前ですが、組織検査です。癌が治るわけではありません。

3. 喉頭癌の治療 (手術、放射線治療、化学療法)

- * 喉頭癌の治療は、大きく分けて手術、放射線治療、化学療法の3つがあります。
- * 早期癌なら放射線治療のみで、手術をしないでもよい可能性が高いです。
- * 医療機関で治療法について相談してみましょう。

4. 喉頭癌の予後 (治療の結果、生きられるのか)

- * 早期であればあるほど、助かる可能性が高くなります。
- * 症状が持続すれば、早めに耳鼻科を受診しましょう。

5. 喉頭癌の疫学（喉頭癌になりやすい人）

(1) 基礎知識:

- * 日本では年間約3000人の喉頭癌患者が新たに発生している
(以上Jpn J Clin31:410-414,2001より)



高知県では年間18人の新たな喉頭癌患者が生まれている計算。

- * 1970年代より少しずつ増えている(高齢化の影響)
(以上Cancer Incidence in five Continents1997より)

(2) 喉頭癌になりやすい人

- * 発症年齢: 大部分が50歳以後である。ピークは60歳代
- * 発症要因: タバコ
- * 性差 : 男10:女1



喉頭癌になりやすい人は40歳代以上でタバコを吸っている男性。

(3) 喉頭癌の症状

- * 嗄声、咽頭違和感、咽頭痛、頸部腫瘍



このような症状が続けばさっさと耳鼻科にかかりましょう。